

ベルモント公園 プロジェクト ワイルド体験 実施報告書

2019.7.16 (火)

開発研究部 環境教育推進室

玉熊 祐子

1. イベント名：プロジェクト ワイルド体験

「ベルモント探検隊！生き物みつけ！」

2. 開催状況

・開催日時：2019年7月13日（土）

第一部：10時30分～11時30分 参加者数 12名

第二部：13時30分～14時30分 参加者数 10名

合計 22名

・受付整理券配布

開催時間30分前より、陳列館1階受付テーブルで受付を行いました。

3. 総まとめ

連日、雨が続いていましたが、当日は、天候にも恵まれ、予想以上に、たくさんの生き物たちが顔を出してくれました。

第一部は、1歳半くらいから7歳くらいのお子様と保護（保育）者の方々に参加をしていただきました。

生き物探しで外へ出る前に、ウォーミングアップとして、カムフラージュしている生き物写真を見て、探すアクティビティを取り入れました。

これから生き物を探すぞ！という気持ちを高めてから、いざ、出発！

当初は、生き物を見つけたら、サインペンで、名前や絵を描く予定でしたが、メンバーが幼かったため、急遽、持参していた星型シールシートを配布し、“自分で見つけたら貼る！”という遊び方に変更しました。

プラス、生き物を発見したら、写真を撮るから教えてね！という約束事を決めました。

“自分で見つけ”、みんなで、“共有しながら観察をする”ということができました。

結果、鳥、チョウ、トンボ、甲虫、シャクトリ虫、アリ、クモ、キノコなど・・・五感を使っ

て観察をして、親しむことが出来たと思います。

保護者の方より、「公園内にある生き物をよくわからなかったので、見つけても、子どもに触らせることができませんでしたが、これからは、大丈夫です」と、嬉しいお言葉をいただきました。

隣接する保育施設の保育士の方より、「この遊び方は、日常でも使えますね。早速使います！」というお言葉もいただきました。

外での活動後、館内に戻り、子ども達にとって、身近にいる生き物の標本に触れてもらいました。子ども達にとって、“触れる”ということは、大きな一歩へと繋がることだと改めて感じました。

第二部は、小学校高学年の子ども達と保護者の方々に参加いただきました。

午前中とは違う、目線と反応の速さが、面白かったです。

ベルモント探検隊としてのミッションを次から次へと出していくと、子ども達同士で、競争心を出しながら、熱心にミッションを遂行してくれました。

今年は、バッタとカマキリの出現が遅いねということも話しました。探検隊として鋭い気づきと、視点だね！と伝えると、とても嬉しそうな表情をしてくれました。

昆虫が苦手な子どもが一人いましたので、グローイングアップワイルドのアクティビティの一つ「第一印象」も取り入れながら、「なぜ？」という、観点も大事に汲み取りながら、生き物探しや、標本に触れて遊ぶということを進めました。参加意識が高く、関心度の高さとイベントの必要性も肌で感じることができました。



「生き物みっけ！」